

Silk Test 13.6 Silk4J Web Edition

インストール ガイド

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Test は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-01-24

目次

概要	4
システム要件および前提条件	4
ハードウェア要件	4
プラットフォーム サポート	4
管理者権限	5
Silk4J Web Edition に含まれる項目	5
ライセンス情報	6
Silk Test のインストール	7
インストールの前提条件	7
TEMP 環境変数の再設定	7
Silk4J のインストール	7
Silk4J Eclipse プラグインの手動インストール	9
Silk Test のアンインストール	9

概要

このヘルプでは、Silk Test のインストールとアンインストールに必要なすべての情報を提供します。ハードウェア要件とソフトウェア要件について説明し、さまざまな設定オプションの詳細について説明します。


システム要件および前提条件

以下のセクションでは、Silk Test をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

ハードウェア要件

以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の DualCore プロセッサ (2 GHz)
RAM	2 GB
ハード ディスク領域	2 GB の空きディスク領域

 **注:** 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

プラットフォーム サポート


プラットフォーム

Silk Test 13.6 は、次のプラットフォーム上で実行するように設計されています。

- Microsoft Windows XP SP3
- Microsoft Windows Vista SP2
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 7 SP1
- Microsoft Windows 8

テクノロジー ドメインおよびブラウザ

Silk Test 13.6 では、以下のブラウザを使用するアプリケーションまたは以下で開発されるアプリケーションがサポートされています。

 **注:** Silk4J の Web + Flex 版ライセンスを持っている場合、Adobe Flex アプリケーションのみを Silk4J を使用してテストすることができます。ライセンス モードの詳細については、「ライセンス情報」を参照してください。

テクノロジーの種類	サポートされるバージョン
Adobe Flex	4.0、4.1、4.5.1、4.6
Mozilla Firefox (再生のみ)	17、18*
Google Chrome (再生のみ)	24*
Windows Internet Explorer	8、9、10

テクノロジーの種類	サポートされるバージョン
Java Applets	Java 1.6、Java 1.7

* 高速リリース版を示します。このようなバージョンの製品のライフサイクルは非常に短く、新しいバージョンで次々に置き換えられていきます。Silk Test は、開発元のベンダーがサポートする限り、これらのバージョンをサポートします。つまり、高速リリース版は、次の Silk Test バージョンでは、より新しいバージョンに置き換えられる可能性があります。

Eclipse 環境

Silk4J は Eclipse 3.7.2 以降に統合できます。バージョン 3.7.2 は、Silk Test に付属しています。

管理者権限

Silk Test をインストールするには、ローカルの管理者権限を持っている必要があります。Silk Test が正しくインストールされたあと、Silk Test を実行するためにも、管理者権限が必要となります。

Silk4J Web Edition に含まれる項目

Silk4J をインストールすると、以下の項目を利用できます。

- Silk4J
- 製品通知サービス - このアプリケーションは、システム トレイに常駐して、設定可能な間隔で更新をチェックします。
- オンライン ヘルプ トピック
各製品の **ヘルプ** メニューからヘルプにアクセスします。
- リリース ノート

新機能、サポート対象のプラットフォームとバージョン、既知の問題、および回避策の詳細については、『Silk Test リリース ノート』（<http://supportline.microfocus.com/productdoc.aspx> で入手可能）を参照してください。

- オンライン チュートリアル <http://supportline.microfocus.com/productdoc.aspx>

PDF ドキュメントを表示するには、Adobe Acrobat Reader™ が必要です。


- オンラインでアクセス可能なサンプル アプリケーション
 - Adobe Flex サンプル アプリケーション
Flex サンプルアプリケーションには <http://demo.borland.com/flex/SilkTest13.6/index.html> からアクセスできます。
 - Insurance Company Web アプリケーション
Web アプリケーションには <http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/> でアクセスできます。

ライセンス情報

評価版を使用している場合を除き、Silk Test を実行するにはライセンスが必要です。

ライセンス モデルは、使用しているクライアントとテストするアプリケーションをベースとします。利用可能なライセンス モデルは、次のアプリケーションの種類をサポートします。

ライセンス モデル	アプリケーションの種類
Web	Web アプリケーション (Java アプレット を含む)  注: 評価版を使用している場合は、 http://www.borland.com/store/silktestwebedition/silk4J-webedition へ移動して Web ライセンスを購入してください。
Web + Flex	Web アプリケーション (以下を含む) <ul style="list-style-type: none">• Adobe Flex• Java アプレット  注: Web + Flex ライセンスにアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。
完全	<ul style="list-style-type: none">• Web アプリケーション (以下を含む)<ul style="list-style-type: none">• Adobe Flex• Java アプレット• Adobe Flex• Java AWT/Swing• Java SWT および Eclipse RCP• .NET (Windows Forms および Windows Presentation Foundation (WPF) を含む)• Rumba• Windows API ベース  注: 完全版にアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。
プレミアム	完全版でサポートされるすべてのアプリケーションの種類、および SAP アプリケーション。  注: プレミアム版にアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。

 **注:** 完全版またはプレミアム ライセンスを使用するには、他のセットアップ パッケージが必要です。このドキュメントの情報は、Silk4J Web Edition に対してのみ適用されます。完全版およびプレミアム版の提供する機能の詳しい概要については、『リリース ノート』を参照してください。

Silk Test のインストール

このセクションでは、Silk Test をインストールするときに使用できる設定オプションについて説明します。

インストールの前提条件

Silk Test をインストールする前に、以下の情報を確認してください。

- ユーザー アカウントにはローカルの管理者権限があります。

TEMP 環境変数の再設定

Windows の TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指していない場合は、エラー メッセージが表示されます。Silk Test を正常にインストールするには、TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指している必要があります。

1. **スタート > 設定 > コントロール パネル** を選択します。
2. **システム** をダブルクリックします。
3. **詳細設定** タブを選択し、**環境変数** をクリックします。
4. **ユーザー環境変数** または **システム環境変数** の下の TEMP 変数をダブルクリックします。
5. 有効なディレクトリを入力して、**OK** をクリックします。
6. EXE ファイルをダブルクリックして、Silk Test のインストールを再び開始します。

Silk4J のインストール

Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。Silk4J は、標準インストールまたは完全インストールを選択すると、自動的にインストールされます。基本インストールまたはカスタム インストールを選択した場合は、あとで Silk4J をインストールできます。Silk4J をインストールすると、Silk Test Recorder および Open Agent もインストールされます。Silk Test Recorder を使用すると、テストを記録できます。テストを手動でコーディングする必要はありません。Silk4J および Silk Test Recorder を実行するには、Open Agent が必要です。

1. Silk Test の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Test CD を持っている場合は、CD を挿入します。セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、<CD ドライブ>:%setup.exe を入力して、Silk Test セットアップ プログラムを手動で開始します。



注: Windows の TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指していない場合は、エラー メッセージが表示されます。Silk Test を正常にインストールするには、TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指している必要があります。

InstallAnywhere ウィザードが開きます。

2. 以前にインストールした Silk Test のバージョンがある場合は、**アンインストール** をクリックして **次へ** をクリックし、インストールされている機能をすべて削除します。

以前のバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールする必要があります。

3. **次へ** をクリックします。 **使用許諾契約** が開きます。

4. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**使用許諾契約の条項に同意する** をクリックします。

5. **次へ** をクリックします。 **インストール フォルダの選択** ページが開きます。

6. デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：

a) **選択** を選択します。 **フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。

b) Silk Test をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

場所が **インストールする場所を指定してください** テキスト ボックスに表示されます。

7. **次へ** をクリックします。 **Silk4J へようこそ** ページが開きます。

8. Silk4J をインストールするときに新しい Eclipse 環境をインストールするかどうかを指定します。

a) 以下のオプション ボタンのいずれかをクリックします。

- **Eclipse (92MB) をダウンロードして Silk4J をインストール**: Silk4J および Eclipse 3.7.2 環境をインストールするには、このオプションをクリックします。

- **既存の Eclipse 環境を使用して Silk4J をインストール** : Silk4J で既存の Eclipse 環境を使用するには、このオプションをクリックします。 **参照** をクリックして、使用する Eclipse 環境に移動します。

- **Silk4J を手動でインストール** : Silk4J を Eclipse 環境に手動でインストールするには、このオプションをクリックします。 dropins という名前のフォルダが Silk Test インストール ディレクトリに作成されます。このフォルダを有効な Eclipse ディレクトリにコピーして Silk4J を使用します。

b) **次へ** をクリックします。

インストールが完了したら、 **スタート > プログラム > Silk > Silk Test > クライアント > Silk4J** をクリックして Eclipse 環境にアクセスします。プラグインの使用手順については、プラグインのオンライン ヘルプを参照してください。

9. Windows ファイアウォール例外を作成するかどうかを指定します。



注: このステップは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、および Windows Server 2008 の場合にのみ使用できます。

a) 以下のオプション ボタンのいずれかをクリックします。

- **はい** : セットアップですべての Silk Test 実行可能ファイルに対してファイアウォール例外を作成します。この結果、実行可能ファイルを起動したときにそれをブロックするか許可するかのプロンプトは表示されません。

- **いいえ** : Silk Test 実行可能ファイルを起動したときにプロンプトが表示されます。

b) **次へ** をクリックします。

10 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：

- 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。

- 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。



ヒント: ファイルのコピー中に十分な空き領域がないというメッセージが表示された場合は、TEMP 領域を多くの領域があるドライブに再定義します。TEMP 領域はインストーラによりファイルを解凍するために使用されます。たとえば、TEMP 領域が d:¥temp であり、e:¥SilkTest にインストールしている場合に、E ドライブにはインストールに十分な領域があるが、D ドライブが制限の要因となります。

11 **完了** をクリックします。

12 Silk4J のインストール実行時に Eclipse が実行されていた場合は、Eclipse を再起動します。

インストールが完了したら、 **スタート > プログラム > Silk > Silk Test > クライアント > Silk4J** をクリックして Eclipse 環境にアクセスします。プラグインの使用手順については、プラグインのオンライン ヘルプを参照してください。

Silk4J Eclipse プラグインの手動インストール

Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。Silk Test インストール ウィザードを使用して Silk Test をインストールするときに、Silk4J Eclipse プラグインをインストールできます。

この手順は、以下の場合に使用します。

- Silk4J プラグインのインストール後に Eclipse のバージョンをアップグレードする場合。
- インストール中に **Silk4J を手動でインストール** オプションを選択した場合。
- Silk Test をインストールしたときに Silk4J Eclipse プラグインをインストールしておらず、手動でインストールする場合。

1. 次のいずれか 1 つのステップを行います：

- インストール中に **Silk4J を手動でインストール** オプションを選択した場合、Silk Test インストール ディレクトリで dropins フォルダを検索します。

デフォルトでは、この場所は C:\Program Files\Silk\Silk Test\dropins です。

- Silk Test インストール ディレクトリに dropins フォルダを作成し、以下のテキストを含む Silk4J.link ファイルを作成します。

```
path=<Silk Test Install Directory>/ng/Silk4J
```

たとえば、以下を追加します。

```
path=C:/Program Files/Silk/Silk Test/ng/Silk4J
```



注: パスにはスラッシュが必要です。

2. Silk4J.link ファイルをコピーして Eclipse dropins フォルダに貼り付けます。

たとえば、Eclipse 環境が C:\Eclipse にインストールされている場合は、Silk4J.link ファイルを C:\Eclipse\dropins にコピーします。

3. Silk4J のインストール実行時に Eclipse が実行されていた場合は、Eclipse を再起動します。

インストールが完了したら、**スタート > プログラム > Silk > Silk Test > クライアント > Silk4J** をクリックして Eclipse 環境にアクセスします。プラグインの使用手順については、プラグインのオンライン ヘルプを参照してください。



ヒント: Silk4J の起動で問題が発生した場合は、パラメータ `-clean` を使用して Eclipse を起動してみます。

Silk Test のアンインストール

新しいバージョンの Silk Test をインストールするときに、既存のバージョンの Silk Test のアンインストールを求めるプロンプトがウィザードで表示されます。また、プログラム メニューから Silk Test をいつでもアンインストールできます。

1. **スタート > プログラム > Silk > Silk Test > 管理 > Silk Test のアンインストール** をクリックします。**InstallAnywhere** ウィザードにより、[Silk Test <バージョン> をアンインストール] ページが開きます。

2. インストール ディレクトリからすべてのファイルを削除するには、**すべてのファイルを削除する** チェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオンにすると、以下の項目またはフォルダが削除されます。

- Access データベースおよびサンプル

- [AppDATA]/Silk/Silk Test の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥Users¥[username]¥AppData¥Roaming ¥Silk¥Silk Test にあります。
 - [commonAppData]/Silk/Silk Test の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥ProgramData¥Silk Test にあります。
 - [commonAppData]/Silk/Silk Test Workbench の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥ProgramData¥Silk Test Workbench にあります。
3. **アンインストール** をクリックします。削除されなかったファイルがある場合は、それらのファイルのリストが表示されます。
 4. **完了** をクリックします。

索引

E

Eclipse プラグイン 7, 9

G

Green Mountain Outpost (GMO)アプリケーション 5

I

Insurance Company Web アプリケーション 5

S

Silk4J
手動インストール 9

T

TEMP 環境変数 7

あ

アンインストール

SilkTest 9

い

インストール
Silk4J 7, 9
概要 4
プロセスの概要 7

か

概要
インストール 4
インストールされる項目 5
管理者権限 5

さ

サンプル アプリケーション 5

ら

ライセンス
利用可能なライセンスの種類 6